

「移動式ICTユニット※」とは

東日本大震災を契機に総務省がNTT等に委託して研究開発を行った、災害時に被災地へ搬入して通信機能を迅速に応急復旧させる通信設備(研究実施期間)平成23年度～平成25年度

(研究受託者)NTT、NTTコミュニケーションズ、富士通、東北大学

※(英語名)MDRU: Movable and Deployable ICT Resource Unit

車載型



アタッシュケース型



通常のスマートフォン・
電話番号で通話・イン
ターネットを利用可能

避難所等(学校、体育館等)

【車載型】

サーバ/ネットワーク機器、無線機器(Wi-Fi基地局、アクセスポイント、FWA固定無線装置)、携帯端末(貸出用)などの装置を自動車(ワンボックスカー)に収容し、被災地に移動して迅速にネットワークを構築し、通信手段を確保できるシステム。

【アタッシュケース型】

アタッシュケースに小型交換機、Wi-Fi基地局、バッテリーなど必要最低限の装置を収容して、被災地の避難所等で簡易に通信手段を確保できるシステム。

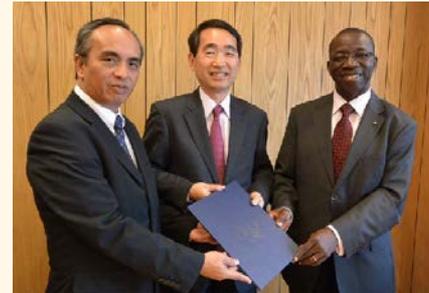


本技術は、国際電気通信連合 (ITU) の
コンテスト(※)で優勝し、ITUテレコムワールド
2013 (H25.11月タイ・バンコク) で授賞

(※)ITU-MCMC Contest to Promote the Transformational
Power of Broadband - Connecting at the Roots

フィリピンでの実証実験(ITUとの共同プロジェクト)

- ITU、総務省、フィリピン科学技術省の3者で協力合意文書を締結(平成26年5月)



本プロジェクトはITU-D
(電気通信開発部門)
と総務省による防災分野
における初の具体的協力
案件

- 今般、ITUとの共同プロジェクトとして、昨年大規模な台風被害を受けたフィリピン・セブ島で移動式ICTユニットを用いた実証実験を開始(～平成27年9月まで実施)

(実証実験イメージ)



【移動式ICTユニット】
避難所～災害対策本部(約500m)を含む広
域で、Wi-Fiネットワークを利用したスマートフ
オンによる通話、データ通信を実施